

人間科学研究科の教学理念、人材育成目的と3ポリシー

教学理念

人間科学研究科は、総合的な心理学をもとにして、人間それ自身の研究を拓き、対人援助・人間理解にかかわる関連分野の諸科学や多様に取り組みられている実践を包括する、広い意味での人間科学の創造をめざす。細分化している専門の深まりを、社会のなかの人間科学としての広がりの中で自らの研究主題を構築しなおす研究力を養い、社会のなかで生きる心理学・人間科学の創造をとおして、学術と社会の発展に貢献する人間の育成を目指す。アカデミック人間科学とプロフェッショナル人間科学の往還をもとにした連携と統合を目標とする。

養成する人材像

人間科学研究科は、心理学とその隣接領域の科学的、総合的知識にもとづいて包括的に人間を理解し、理論と実践を相互還流させる高度な技能と対応力を身につけることで、人々のニーズや社会的要請を適切に捉えて、学術と社会の発展に貢献することができる人材を育成することを目的とする。

博士課程前期課程

人間科学研究科人間科学専攻博士課程前期課程に心理学領域、臨床心理学領域、対人援助学領域の3領域を置き、心と行動の理論的、実証的研究および臨床と支援の実践的研究を行う。本課程は、これらの人間科学研究を通じて、国際的、かつ、総合的視野を持って学術の発展と社会の進歩、安寧に貢献できる人材の育成を目的とする。そのために、修了時点において学生が身につけるべき能力（教育目標）として、下記の三点を定める。

- 人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）の専門的知識をもとにして人間についての諸問題を科学的・総合的、歴史的にとらえることができる（知識・理解）
- 人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）についての専門的技能と対応力を習得し、理論と実践を相互還流させてとらえることができる（技能・表現）
- 人びとのニーズや社会的要請を適切にとらえ、世界的な視野をもち新しい人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）の創造に高いこころざしをもって挑戦することができる（価値・姿勢）

博士課程後期課程

人間科学研究科人間科学専攻博士課程後期課程において、高度に専門的な研究能力と技能にもとづいて、心と行動に関する人類の知を拡大し、総合的、倫理的な視点から複雑な社会の問題の解決に貢献することができる人材の育成を目的とする。そのために、修了時点において学生が身につけるべき能力（教育目標）として、下記の四点を定める。

- 人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）に関する専門的知識をもとにして、批判的・科学的・総合的かつ世界的な視野において人間科学の諸課題をとらえることができる（知識・理解）
- 人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）についての高度な専門的技能と対応力・実践力を習得し、人間科学の理論と実践を相互還流させてとらえることができる（技能・表現）
- 新しい人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）の創造に高いこころざしをもって挑戦する意欲を持ち、グローバルな視点から人びとのニーズや社会的要請を適切にとらえることができる（価値・姿勢）
- 理論的にも実践的にも先進的な研究を行える問題意識と課題遂行能力を持ち、人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）における今日の課題を敏感かつ的確に捉えることができる（独創性・課題遂行能力）

教育目標

人間科学研究科では、人材育成目標を達成するために、次のような教育を行います。

1. 総合性・専門性の軸-包括的で専門的な人間理解を深める教育・研究
2. 応用・実践性の軸-社会のなかで生きる人間科学分野をリードする
3. 国際性の軸-グローバル社会の諸課題に心理学・人間科学研究をとおして迫る
4. 教育の特色を活かす力は高度な研究力
5. 学位を授与する分野の研究力
6. 心理学・人間科学分野の専門家養成としての前期課程の位置づけ

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

博士課程前期課程

人間科学研究科は、心理学、臨床心理学、対人援助学などに関する教育分野を創造し、こうした分野の研究者や高度専門職を担う人材の養成を通して、関連分野の新しい研究を推進することを目指す。本研究科は、このような研究科の理念に賛同し、博士課程前期課程及び同後期課程を通じて、高度な専門性の獲得をめざす下記のような条件を満たす人材を求める。

1. 心理学の基礎的分野、応用的分野、対人援助や人間理解に関する分野に関する基礎的知識を有し、こころ、行動、人間について総合的な視野をもつ者
2. 人間にかかわる問題を主体的に発見し、それを解決するために、科学的・客観的な方法を用いることに意欲と関心を持つ者
3. 人間にかかわる問題の解決のために、理論と実践を相互還流させてとらえる視点を有し、他者を尊重し、他者と協働する姿勢を有する者
4. 人間科学の国際的展開に積極的に参与していこうとする者

博士課程後期課程

人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学等の諸分野）における博士課程前期課程レベル（修士課程レベル）の知識・技能を基盤に、自らの問題意識について、さらに理論的にも実践的にも独創的かつ先進的な研究を行う意欲がある人物を求める。本研究科は、このような研究科の理念に賛同し、博士課程前期課程及び同後期課程を通じて、高度な専門性の獲得をめざす下記のような条件を満たす人材を求める。

1. 人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）の専門的知識をもとにして人間についての諸問題を科学的・総合的にとらえることができる者（知識・理解）
2. 人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）についての専門的技能と対応力を習得し、理論と実践を相互還流させてとらえることができる者（技能・表現）
3. 人びとのニーズや社会的要請を適切にとらえ、新しい人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）の創造に高いところざしをもって挑戦することができる者（価値・姿勢）

教育課程の編成方針

人間科学研究科では、人材育成目的（養成する人材像）と研究科の特色を具体化して、以下のように教育課程を編成する。

人間科学諸科学の連携、理論と実践の往還、基礎と応用の交流のために、心理学領域、臨床心理学領域、対人援助学領域をおく。日常的な研究の場として演習をおく。対人援助学クラスター（総合的な演習科目、対人援助学演習として構成される）、心理学と臨床心理学についての演習、各領域の演習の一環として設定される研究科全体でとりくむ「人間科学フォーラム」である。さらに、人間科学にかかわる共通科目（「社会のなかの人間科学」と「人間科学特論」）や研究科全体に開放する「対人援助学実習（国際プロジェクトを含む）」をおき、専門研究を、人間科学研究としてより包括的な視野において位置づけることができるようにする。各領域での教育とあわせて、基本的な知識を習得し、調査の基本的技量を駆使し、人間科学研究倫理にもとづき、最終的には修士論文を提出することを修了の要件とする。

博士課程前期課程の教育課程編成

本研究科博士課程前期課程の科目は、「領域科目」「共通科目」に大区分する。「領域科目」には中区分として「心理学領域」、「臨床心理学領域」、「対人援助学領域」を設ける。前期課程は、人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）の各分野において、理論的・基礎的な対象の理解と、応用的・実践的な知識の修得・活用が可能な課程として編成する。アカデミック人間科学とプロフェッショナル人間科学の架橋、往還、連携と統合が可能なように諸領域を構成し、領域固有の専門性と領域共通の人間科学として総合性を得ることができる課程として編成する。このために、演習系科目、実習系科目、講義系科目をおき、自らの研究にかかわる知識、方法・理論、社会性が統合的に把握できるような教育課程として編成する。以上により、前期課程の領域科目には心理学領域、臨床心理学領域、対人援助学領域の相対的に区分された領域をおく。

博士課程後期課程の教育課程編成

博士課程後期課程は、人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）の分野において、理論的・基礎的な対象の理解と、応用的・実践的な知識の活用が可能な人間科学をめざす課程として編成する。アカデミック人間科学とプロフェッショナル人間科学の架橋、往還、連携と統合が可能なように人間科学プロジェクト演習ならびに共通科目群を開設する。

学位授与ポリシー（ディプロマ・ポリシー）

博士課程前期課程

1. 人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）の専門的知識をもとにして人間についての諸問題を科学的・総合的、歴史的にとらえることができる（知識・理解）
2. 人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）についての専門的スキルと対応力を習得し、理論と実践を相互還流させてとらえることができる（技能・表現）
3. 人びとのニーズや社会的要請を適切にとらえ、世界的な視野をもち新しい人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）の創造に高いところざしをもって挑戦することができる（価値・姿勢）

博士課程後期課程

1. 人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）に関する専門的知識をもとにして、批判的・科学的・総合的かつ世界的な視野において人間科学の諸課題をとらえることができる（知識・理解）
2. 人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）についての高度な専門的スキルと対応力・実践力を習得し、人間科学の理論と実践を相互還流させてとらえることができる（技能・表現）
3. 新しい人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）の創造に高いところざしをもって挑戦する意欲を持ち、グローバルな視点から人びとのニーズや社会的要請を適切にとらえることができる（価値・姿勢）
4. 理論的にも実践的にも先進的な研究を行える問題意識と課題遂行能力を持ち、人間科学（心理学、臨床心理学、対人援助学）における今日的課題を敏感かつ的確に捉えることができる（独創性・課題遂行能力）